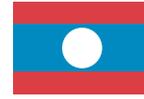




国際協力事業団 (JICA)



No.

ラオス人民民主共和国
通信・運輸・郵政・建設省

ラオス国 南部地域道路改善計画調査



ファイナルレポート 要約編

平成15年2月



株式会社 オリエンタルコンサルタンツ

PADECO 株式会社 パデコ

社調一

JR

03-18



国際協力事業団 (JICA)



ラオス人民民主共和国
通信・運輸・郵政・建設省

ラオス国 南部地域道路改善計画調査

ファイナルレポート

要約編

平成15年2月



株式会社 オリエンタルコンサルタンツ

PADECO 株式会社 パデコ

序文

日本国政府は、ラオス人民民主共和国政府の要請に基づき、同国の南部地域道路改善計画にかかる、開発調査を行うことを決定し、国際協力事業団がこの調査を実施いたしました。

当事業団は、平成13年11月から平成15年2月までの間、3回にわたり、株式会社オリエンタルコンサルタンツの福田正美氏を団長とし、同株式会社オリエンタルコンサルタンツ及び株式会社パデコから構成される調査団を現地に派遣しました。

また平成13年11月から平成15年2月の間、独立行政法人 土木研究所 基礎道路技術研究グループ長 安居邦夫氏を委員長とする作業監理委員会を設置し、本件調査に関し専門的かつ技術的な見地から検討・審議が行われました。

調査団は、ラオス人民民主共和国政府関係者と協議を行うとともに、計画対象地域における現地調査を実施し、帰国後の国内作業を経て、ここに本報告書完成の運びとなりました。

この報告書が、本計画の推進に寄与するとともに、両国の友好・親善の一層の発展に役立つことを願うものです。

終わりに、調査にご協力とご支援をいただいた関係各位に対し、心より感謝申し上げます。

平成15年2月



国際協力事業団
総裁 川上隆朗

伝達状

平成 15 年 2 月

国際協力事業団

総裁 川上隆朗 殿

今般、ラオス人民民主共和国における南部地域道路改善計画調査が終了いたしましたので、ここにファイナルレポートを提出いたします。

本調査は、貴事業団との契約に基づき、弊社が、平成 13 年 11 月より平成 15 年 2 月までにわたり実施してまいりました。今回の調査に際しましては、ラオス国の現状を十分に踏まえ、本計画調査成果の有効性を検証するとともに、ラオス国の公共事業の現状にも最も適した計画の策定に努めてまいりました。

なお、同期間中、貴事業団を始め、外務省、国土交通省、独立行政法人土木研究所、その他各関係者には多大のご理解並びにご協力を賜り、御礼を申し上げます。また、ラオス国における現地調査期間中は、通信・運輸・郵政・建設省、JICA ラオス事務所、在ラオス日本国大使館の貴重な御助言と御協力を賜ったことも付け加えさせていただきます。

貴事業団におかれましては、本計画の推進に向けて、本報告を大いに活用されることを切望いたす次第であります。

福田正美

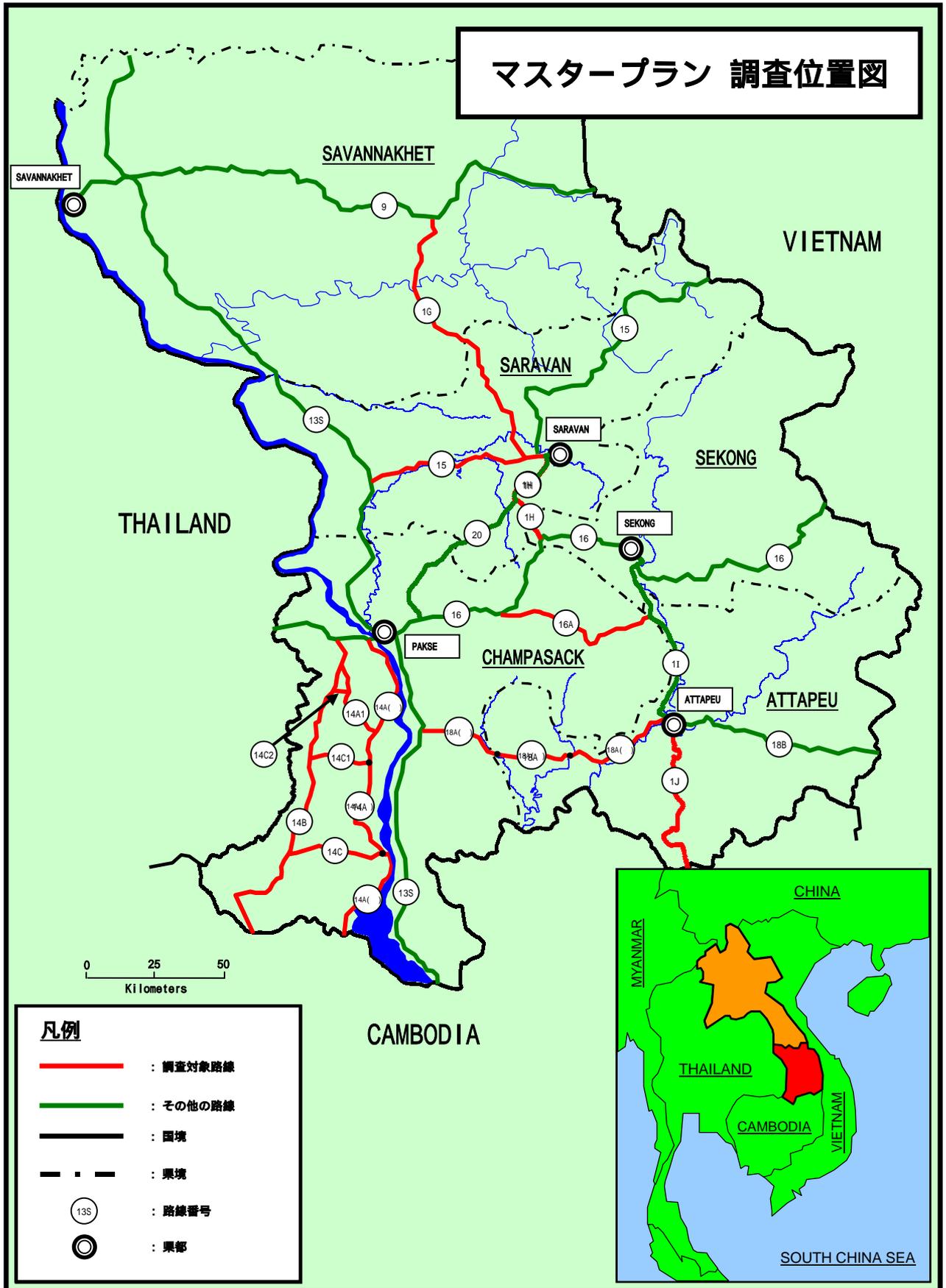
株式会社 オリエンタルコンサルタンツ

ラオス国

南部地域道路改善計画調査団

団長 福田正美

マスタープラン 調査位置図



凡例

- : 調査対象路線
- : その他の路線
- : 国境
- - - : 県境
- (13S) : 路線番号
- ◎ : 県都